

知らないと思わぬ事故に!?

自転車の違反行為

自転車は通学にも使われる便利な乗り物ですが、「軽車両」に区分される立派な車両です。誤った乗り方をすれば、思わぬ事故を引き起こしかねません。また、たとえ事故を起こさなくても「道路交通法」が定める交通ルールに違反すると、懲役や罰金などの罰則が科されてしまいます。自分や周りの人を守るために、交通ルールをきちんと守って自転車に乗ることが大切です。



知っているかな?

ルール違反になる自転車の乗り方

ここでは、交通ルールに違反する自転車の乗り方を4つ紹介します。こういった乗り方は危険な事故につながりかねません。大切な命を守るために、交通ルールを守った走行を心がけましょう。

片手運転



傘を差しながら、また携帯電話の操作をしながらなど、片手となる運転は不安定になるので、してはいけません。

道路交通法第70条、71条

右側通行



自転車は車道通行が原則。道路では左側を通行しなければいけません。車両通行帯では原則一番左側を、車両通行帯のない道路は左側端を通行しなければいけません。

道路交通法第18条、20条

夜間の無灯火運転



自転車は夜間に無灯火で運転してはいけません。また、反射器材を備えていない自転車を夜間に運転してはいけません。

道路交通法第52条

2台並んでの走行



自転車は、道路標識等によって認められている場合を除き、他の自転車と並進してはいけません。

道路交通法第63条第5項

ご存知ですか？ 事故やケガのこと。 支払えますか？ 相手への賠償金。



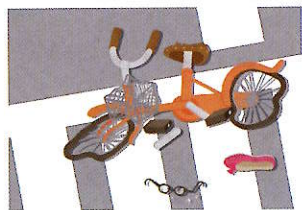
学生生活を24時間充実して過ごすための準備が必要です！

7分31秒に1件 自転車事故が発生しています。

【出典元】警察庁「令和4年中の交通事故の発生状況」

自転車の賠償事故例

9,521万円



こどもが加害者になることも

男子小学生が自転車で歩行中の女性と正面衝突。
女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となった。
(神戸地方裁判所、2013年7月4日判決)

参考：一般社団法人 日本損害保険協会 自転車の事故 -安全な乗り方と事故への備え- 抄録

学費で未来を諦めたくない！



高校で、約 **316万円**



大学で、約 **519万円**

教育費が必要とされています

【出典元】高校は私立、大学は私立全学部の平均額の場合の試算です。
参考：文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」
「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生給付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」

中学生総合保険なら！

お子さまのケガ



入院・通院ともに
1日目から補償

他人さまへの賠償責任補償



最高3億円まで補償で、
家族^{※1}も対象
(示談交渉サービス付^{※2})

※1 ご家族の範囲の詳細はWEBサイトでご確認ください。
※2 意見の相違がある等、解決が困難な場合は弁護士が対応します。

扶養者の万一



扶養者のケガによる死亡・後遺障害の補償

そのほか、O157などの特定感染症、細菌性・ウイルス性食中毒、熱中症など、幅広く補償します！
このご案内は商品の概要を説明したものです。詳細はWEBサイトでご確認ください。

ひと月にすればわずか、**699円** ※コース3年間の場合 で卒業までしっかりサポート！

絶対もらえる
キャンペーン実施中！

保険料5,000円以上でお申込みの方が対象となります。

書店などで使えるhontoコード

1,000円分



かんたんWEB申込みで
最短で**4営業日後** (金融機関営業日)
から補償開始！ (クレジットカード支払い)

▼お申込みはこちら▼



<取扱代理店>

総合保険センター

<引受保険会社> チューリッヒ保険会社

総合保険センター | 運営会社：株式会社フィナンシャル・エージェンシー
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー16F

※総合保険センターは通信販売による保険募集を行うことが可能な保険商品の中から、取引実績や保険会社の事務手続等の理由から、チューリッヒ保険会社の中学生総合保険を推奨しております。

A-231107-03

先生・
保護者の
方へ

文部科学省では、「学校安全資料『生きる力』をめぐむ学校での安全教育」の第2章「学校における安全教育」の中で、中学校で育成したい資質・能力に「日常及び災害時の安全確保に向けた正しい情報の収集と理解ができるようになることや安全に配慮した的確な行動がとれるようになること、状況に応じて自他の安全を確保する態度を育てること」を挙げています。スポーツやクラブ活動、自転車通学など、生活がよりアクティブになる中学生を怪我や事故から守るためには、保護者や教職員が生活の中に潜むリスクについてしっかりと理解させるとともに、万が一のための備えをしておくことが大切です。

